

問 1 (30 点)

【解答のポイント】

- ・ 適切に要約できていること。
- ・ 両者の違う点について記述し、両者が似ている点については述べる必要がない。

【解答例】

「教わること」と「発見すること」は、ふつう区別して考えられている。「教わること」は、話し手や書き手から学ぶことである。それに対して、「発見すること」は、人に教えてもらわなくても知識を学ぶことである。つまり、両者の違いは主に何から学ぶかの違いにある。「教わる」ときには、学習者は、教師や読書を通して、すなわち、文字や話などの情報を受けとることで学ぶことになる。それに対して、「発見する」ときには、教師の助けをかりることなく、自然や外界に対して働きかけることによって学ぶことになる。

問 2 (30 点)

【解答のポイント】

- ・ 適切な文章量で記述していること。
- ・ 現実性のある三つの事例を具体的に記述していること。

【解答例】

まず基本的な点として、わからない言葉の意味は辞書などで調べて理解するようにしている。また大事だと思う文章には線やマーカーで印をつけ、一度読んだだけでは良く理解できなかった部分は、何度も読み返すようにしている。さらに、いつもというわけではないが、読書ノートなどを作成し、読んだ本の内容や自分の感想などを書き留めておくことがある。

問 3 (40 点)

【解答のポイント】

- ・ 適切な文章量で記述していること。
- ・ 読書の大切さについて、自分の考えを論理的に表現できていること。

【解答例】

私が考える読書の大切さは、二つある。一つは、自分の好きな時間に、自分のペースで、知識を獲得できることである。知識を獲得するためには、人がから教わるということでもできるが、その場合は、どうしても相手の都合に合わせなければならない。しかし、読書であれば、自分の都合に合わせて自由な時間で行うことができる。また人の話の内容をあとで正確に思い出すことは難しいが、本の場合は、何度も読み返すことができ、じっくりと理解することができる。この

ように、今の自分の状態に合わせて学んで行くことができる読書は、とても大切だと思う。

二つめは、自分自身の考えをさらに深めていくきっかけとして、読書は非常に有効であるということだ。読書を通して新たな知識が身につくだけでなく、例えば、小説に登場する人物を自分と重ね合わせることで、登場人物の考えと自分の考えを比べることができ、より深く自分の考えを確かめることができる。さらには、これまで考えもしなかった自分の気持ちや感情に気づくことがあるかもしれない。このように、読書は自分の考えや気持ちをより深く見つめることができる材料を提供してくれるので、大切だと思う。